

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
3	49	○日常的な外出支援 1人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力をしながら出かけられるよう支援している。	地域への行事参加や近隣の学校との交流を図る。 ご利用者の外出の機会を増やすことにより、精神面の安定を図る。	近隣の小学校への行事については、参加・交流はできていない。可能な限り参加をさせていただく。 ホーム周辺は坂道で散歩は困難。近くの公園まで出かけないといけない事もあり、外出支援が少ない。今年度は、計画を立て可能な限り行えるようにする。	12 か月
2	42	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	歯科医師の指示のもとご利用者の口腔内の状態を常にチェックし清潔さを維持する。もし異常を感じたら歯科医の診察を受ける。	平成30年度より口腔衛生管理体制加算を算定させていただいているので、協力歯科医から指示をいただき、ご利用者の口腔内の衛生管理については、今まで以上に維持出来るようにする。確認は約10日に1回は行い、異常があれば、歯科医師の指示にもあるが、診察をしていただき、治療を行う。 認知症の進行等で歯科受診が困難な方は、訪問診療を行っていただき、居宅療養管理指導等を行っていただく。	12 か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。